志村坂下小だより

７月号　令和５年６月３０日
http://www.ita.jp/edu/sakaes/　　東京都板橋区立志村坂下小学校
「FLC学びのエリア」（fight・learn・clean）「志四中」「坂下小」「緑小」「志村小」「北前野小」　　校長　松野　薫子
目指す児童・生徒像＝「よく考え進んで学ぶ子ども」「心豊かで思いやりのある子ども」「ねばり強くたくましい子ども」

「移動教室のおみやげ」

校長　　松野　薫子

５月末の坂スポに続いて、６月も大きな行事がありました。「東京都・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」いわゆるスポーツテスト、と言われているものです。８種目あるのですが、本校はそのなかの４種目を２日間かけて全学年で実施します。担任はもちろんのこと専科の教員も総出での実施ですが、それでも人手は足りません。昨年に続き、今回もみどりんサポーターズの方々に入っていただきました。蒸し暑い中でしたが２日間で２０名近くの方にお手伝いいただき、順調に進めることができました。地域の皆さんに支えていただいていることを、私たち教員だけでなく、子供たちも実感したことと思います。ご協力に感謝します。ありがとうございました。

その翌週、６年生は日光移動教室に出かけました。６年生にとってはこちらのほうが、大きな行事でしょう。雨具のことを一切考えずに済んだ、梅雨の時期にしては奇跡のような３日間でした。

初日の大谷資料館、足尾銅山。２日めの戦場ヶ原ハイキング、華厳の滝。最終日の日光東照宮、こども総合科学館。どこでも目をキラキラさせて、瞬間瞬間を楽しんでいました。

私が一番印象に残ったのは、おみやげを選んでいる時の子供たちの表情です。もう真剣そのものの顔。目は数々のみやげ物に釘付けで、ほとんど話し声も聞こえません。でも、そんななかで、顔を宙にむけ、ふと考える様子の子を見つけました。一人ではありません。何人もいるのです。その後に誰にともなくニコッと微笑む子もいました。その内の一人の子に何を買ったのか尋ねました。すると「家の人に…」とのこと。かごの中には小さい袋に入ったものがいくつもあります。ああ、そうか、と合点がいきました。子供たちが顔を上げたのはご家族のことを思い出していたのでしょう。お小遣いは2000円。そのなかで、移動教室の思い出をご家族と分かち合うためにはどうするのがいいのだろう、と考えていたのだと思うのです。「みんなで食べるんだ。」と箱入りのお菓子を何種類も選んでいた子もいました。

友達と寝食を共にする楽しい時間のなかでも、やはり家族のことは折々で思い出していたのでしょう。家を離れた生活の中で、家庭で過ごす時間のよさも改めて感じることができた二泊三日でした。

子供たちはホテルでの生活やバスの中でも、互いを思いやり、気持ちよく過ごせるようにしていました。そして、その穏やかで礼儀正しい姿をたくさんの方々に褒めていただきました。でもそれは当たり前のことではなく、「これが志村坂下小の最高学年の姿」と子供たち一人一人が意識をして努力していたのだと考えます。これはきっともう習慣になっているのでしょう。(もちろんお風呂の忘れ物や部屋でのはしゃぎ過ぎなど、子供らしい失敗はいくつかありましたが…)そうやって生きる力を蓄えている子供たちの姿が見られたことが、私にとってのおみやげになりました。

《 行事の変更のお知らせ 》
学習発表会（音楽）を次のように変更します。
変更前：１２月２日（土）　振替休業日は11日になります。
変更後：１２月９日（土）